

第5次小田原市総合計画

「おだわらTRYプラン」

後期基本計画の指標に係る評価について

No.	施策	指標名	目標値 (R4年度末)	増減 目標	単年・ 累計	H28年度～R2年度までの実績 [グラフの凡例] 目標値 — 実績値 ● 基準値 - - -	実績値の考察	補足説明	評価																								
1	地域福祉の推進	ケアタウン推進事業取組地区数	26地区	増	累計	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>20</td><td>21</td><td>25</td><td>26</td><td>26</td></tr> <tr><th>目標値</th><td colspan="5">26</td></tr> <tr><th>基準値</th><td colspan="5">18</td></tr> </table>	年度	H28	H29	H30	R1	R2	実績値	20	21	25	26	26	目標値	26					基準値	18					令和元年度にすべての地区と協定を締結し取組を開始することができた。		S
		年度	H28	H29	H30	R1	R2																										
		実績値	20	21	25	26	26																										
目標値	26																																
基準値	18																																
就労支援事業対象者における就労決定率	60%	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>37</td><td>40</td><td>31</td><td>26</td><td>18</td></tr> <tr><th>目標値</th><td colspan="5">60</td></tr> <tr><th>基準値</th><td colspan="5">43</td></tr> </table>	年度	H28	H29	H30	R1	R2	実績値	37	40	31	26	18	目標値	60					基準値	43					就労支援について、意欲に差が出る傾向にある。また、社会性や日常生活に課題を有する人については、就労になかなか結び付かないため、中間的就労等の活用や職業訓練への誘導等、個々の支援に時間を要することが増えている。令和2年度においては新型コロナウイルス感染症の影響で雇用情勢の厳しさ、就労支援の面談についても度重なる緊急事態宣言等により、電話等での対応を余儀なくされたため、求職活動及びその支援が難しかったことが要因と考えられる。		C		
年度	H28	H29	H30	R1	R2																												
実績値	37	40	31	26	18																												
目標値	60																																
基準値	43																																
生活保護世帯における中学3年生の高等学校進学率	100%	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>95</td></tr> <tr><th>目標値</th><td colspan="5">100</td></tr> <tr><th>基準値</th><td colspan="5">87</td></tr> </table>	年度	H28	H29	H30	R1	R2	実績値	100	100	100	100	95	目標値	100					基準値	87					中学3年に進級後、各家庭への訪問等により希望の進路を把握し、必要に応じて進学に向けての手続きをケースワーカー及び自立支援員が支援することにより、目標値を概ね達成できた。	定時制 通信制 含む	A		
年度	H28	H29	H30	R1	R2																												
実績値	100	100	100	100	95																												
目標値	100																																
基準値	87																																
2	高齢者福祉の充実	アクティブシニア応援ポイント事業年間延べ参加人数	6,000人	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>3,301</td><td>3,583</td><td>3,892</td><td>3,837</td><td>426</td></tr> <tr><th>目標値</th><td colspan="5">6,000</td></tr> <tr><th>基準値</th><td colspan="5">2,000</td></tr> </table>	年度	H28	H29	H30	R1	R2	実績値	3,301	3,583	3,892	3,837	426	目標値	6,000					基準値	2,000					登録者の増加に伴い、年間延べ参加人数は増加傾向にあったが、令和元年度後半から新型コロナウイルス感染症の影響により登録者、年間延べ参加人数共に減少。		C
		年度	H28	H29	H30	R1	R2																										
		実績値	3,301	3,583	3,892	3,837	426																										
目標値	6,000																																
基準値	2,000																																
地域ケア会議開催回数	73回	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>19</td><td>74</td><td>90</td><td>122</td><td>63</td></tr> <tr><th>目標値</th><td colspan="5">73</td></tr> <tr><th>基準値</th><td colspan="5">35</td></tr> </table>	年度	H28	H29	H30	R1	R2	実績値	19	74	90	122	63	目標値	73					基準値	35					H30の7月以降、要支援のケアプランを多職種で検討する自立支援ケア会議を新規に始めたことで、回数が増となった。一方、令和2年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、回数が減となった。		A		
年度	H28	H29	H30	R1	R2																												
実績値	19	74	90	122	63																												
目標値	73																																
基準値	35																																
基準緩和型サービス利用者数	380人	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>258</td><td>308</td><td>332</td><td>330</td><td>296</td></tr> <tr><th>目標値</th><td colspan="5">380</td></tr> <tr><th>基準値</th><td colspan="5">0</td></tr> </table>	年度	H28	H29	H30	R1	R2	実績値	258	308	332	330	296	目標値	380					基準値	0					人数は増加傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、R2は減となった。		B		
年度	H28	H29	H30	R1	R2																												
実績値	258	308	332	330	296																												
目標値	380																																
基準値	0																																

No.	施策	指標名	目標値 (R4年度末)	増減 目標	単年・ 累計	H28年度～R2年度までの実績 [グラフの凡例] 目標値 — 実績値 ● — 基準値 - - -	実績値の考察	補足説明	評価												
3	障がい者福祉の充実	障がい者就業・生活支援センターを通じて一般就労した人数	40人	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>51</td></tr> <tr><td>H29</td><td>52</td></tr> <tr><td>H30</td><td>51</td></tr> <tr><td>R1</td><td>43</td></tr> <tr><td>R2</td><td>34</td></tr> </table>	年度	実績値	H28	51	H29	52	H30	51	R1	43	R2	34	平成30年度までは着実に一般就労に繋がっていたが、新型コロナウイルスの影響により、令和元年度(平成31年度)末から、企業での面接や実習が制限されたことにより、採用に繋がらなくなってしまった。令和3年度以降も新型コロナウイルスの感染状況により、障がい者雇用に大きな影響が生じることが懸念される。		A
		年度	実績値																		
H28	51																				
H29	52																				
H30	51																				
R1	43																				
R2	34																				
障がい者事業所などへの発注額	3,000,000円	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>2,643,784</td></tr> <tr><td>H29</td><td>1,563,239</td></tr> <tr><td>H30</td><td>1,102,171</td></tr> <tr><td>R1</td><td>1,118,987</td></tr> <tr><td>R2</td><td>1,042,496</td></tr> </table>	年度	実績値	H28	2,643,784	H29	1,563,239	H30	1,102,171	R1	1,118,987	R2	1,042,496	各課の協力のもと、新規業務の開拓に努めているが、反面、公共施設の閉鎖や業務見直し等により、発注額の増加が難しい状況にある。		C		
年度	実績値																				
H28	2,643,784																				
H29	1,563,239																				
H30	1,102,171																				
R1	1,118,987																				
R2	1,042,496																				
4	健康づくりの推進	大腸がん検診受診率	50%	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>27.2</td></tr> <tr><td>H29</td><td>23.1</td></tr> <tr><td>H30</td><td>22.6</td></tr> <tr><td>R1</td><td>22.7</td></tr> <tr><td>R2</td><td>22.2</td></tr> </table>	年度	実績値	H28	27.2	H29	23.1	H30	22.6	R1	22.7	R2	22.2	令和2年度は、受診率向上を目的に、年度末年齢41歳を対象に「無料クーポン券事業」を実施した。(平成27年度に無料クーポン券事業を実施した結果、受診率向上に効果があったため予算化した)令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言発出のため、受診期間が1か月短くなったこと、市民の受診控えもあり、受診率が前年度比で低下した。令和3年度はあらゆる側面から普及啓発事業を実施し受診率向上を目指す。		C
		年度	実績値																		
		H28	27.2																		
H29	23.1																				
H30	22.6																				
R1	22.7																				
R2	22.2																				
脳血管疾患死亡率(人口10万対)	目標年の国レベルまで低下させる	減	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>101.9</td></tr> <tr><td>H29</td><td>88.2</td></tr> <tr><td>H30</td><td>88.9</td></tr> <tr><td>R1</td><td>87.1</td></tr> <tr><td>R2</td><td>101.5</td></tr> </table>	年度	実績値	H28	101.9	H29	88.2	H30	88.9	R1	87.1	R2	101.5	平成29年度までは、地区活動を通して脳血管疾患の死亡率の減少にむけ、高血圧予防で普及啓発を行っていたため、死亡率の減少がみられていたが、少し視点をかえ、脳血管疾患の原因にもなる、動脈硬化予防に重点をおいた活動にシフトしたところ、再度死亡率上昇がみられている。このことから、直接的な内容で普及啓発を行っていく必要があると考える。コロナ禍にある現在、普及啓発の方法も検討して行っていきたい。	年度統計ではなく年統計のため最新の統計はH30年になる。	C		
年度	実績値																				
H28	101.9																				
H29	88.2																				
H30	88.9																				
R1	87.1																				
R2	101.5																				
栄養のバランスを考えて食事をする市民の割合	75%	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>34.1</td></tr> <tr><td>H29</td><td>34.1</td></tr> <tr><td>H30</td><td>未測定</td></tr> <tr><td>R1</td><td>未測定</td></tr> <tr><td>R2</td><td>未測定</td></tr> </table>	年度	実績値	H28	34.1	H29	34.1	H30	未測定	R1	未測定	R2	未測定		平成28年度以降調査していない。	D		
年度	実績値																				
H28	34.1																				
H29	34.1																				
H30	未測定																				
R1	未測定																				
R2	未測定																				

No.	施策	指標名	目標値 (R4年度末)	増減 目標	単年・ 累計	H28年度～R2年度までの実績 [グラフの凡例] 目標値 — 実績値 ● 基準値 - - -					実績値の考察	補足説明	評価												
						H28	H29	H30	R1	R2															
5	地域医療体制の充実	休日・夜間急患診療の受診患者	15,000人	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>13,964</td></tr> <tr><td>H29</td><td>14,312</td></tr> <tr><td>H30</td><td>14,698</td></tr> <tr><td>R1</td><td>13,888</td></tr> <tr><td>R2</td><td>4,742</td></tr> </table>					年度	実績値	H28	13,964	H29	14,312	H30	14,698	R1	13,888	R2	4,742	例年、受診患者数は14,000人前後を推移しているが、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、激減した。診療体制は維持しているが、新型コロナウイルス感染症が落ち着くまでは、受診患者数の増は見込めない。		C
		年度	実績値																						
H28	13,964																								
H29	14,312																								
H30	14,698																								
R1	13,888																								
R2	4,742																								
	小田原高等看護専門学校卒業後の市内及び下郡3町就労数	32人	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>25</td></tr> <tr><td>H29</td><td>25</td></tr> <tr><td>H30</td><td>23</td></tr> <tr><td>R1</td><td>45</td></tr> <tr><td>R2</td><td>35</td></tr> </table>					年度	実績値	H28	25	H29	25	H30	23	R1	45	R2	35	平成29年度の1年次から2クラスとし、令和元年度からの卒業生増えたことから、目標値を達成することができた。		S	
年度	実績値																								
H28	25																								
H29	25																								
H30	23																								
R1	45																								
R2	35																								
6	市立病院の機能拡充と健全経営	地域基幹病院としての機能維持	5指定・承認	—	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>5</td></tr> <tr><td>H29</td><td>5</td></tr> <tr><td>H30</td><td>5</td></tr> <tr><td>R1</td><td>5</td></tr> <tr><td>R2</td><td>5</td></tr> </table>					年度	実績値	H28	5	H29	5	H30	5	R1	5	R2	5	地域基幹病院として、災害拠点病院、地域周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、救命救急センターの機能を維持している。		S
		年度	実績値																						
		H28	5																						
H29	5																								
H30	5																								
R1	5																								
R2	5																								
	厚生労働省の救命救急センター充実段階評価	A評価	—	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>A</td></tr> <tr><td>H29</td><td>A</td></tr> <tr><td>H30</td><td>A</td></tr> <tr><td>R1</td><td>A</td></tr> <tr><td>R2</td><td>A</td></tr> </table>					年度	実績値	H28	A	H29	A	H30	A	R1	A	R2	A	H28以降、目標値であるA評価を維持している。引き続き、救命救急センターを充実させるとともに、機能強化に取り組んでいく。		S	
年度	実績値																								
H28	A																								
H29	A																								
H30	A																								
R1	A																								
R2	A																								
	経常収支比率	100%	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>101.8</td></tr> <tr><td>H29</td><td>102.9</td></tr> <tr><td>H30</td><td>101.6</td></tr> <tr><td>R1</td><td>100.8</td></tr> <tr><td>R2</td><td>96.2</td></tr> </table>					年度	実績値	H28	101.8	H29	102.9	H30	101.6	R1	100.8	R2	96.2	H28～R1まで目標値である100%を超え黒字を維持している。H29をピークに減少傾向であるが、消費税の増税や一般会計負担金の減額など外的要因によるものである。R2は新型コロナウイルス感染症の影響で医療収益が大幅に減少したことに伴い、比例して減少し目標値には達しなかった。		B	
年度	実績値																								
H28	101.8																								
H29	102.9																								
H30	101.6																								
R1	100.8																								
R2	96.2																								

No.	施策	指標名	目標値 (R4年度末)	増減 目標	単年・ 累計	H28年度～R2年度までの実績 [グラフの凡例] 目標値— 実績値— 基準値---	実績値の考察	補足説明	評価																								
7	共生社会の実現	審議会などへの女性参画率	40%以上 60%未満	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>31.3</td></tr> <tr><td>H29</td><td>33.3</td></tr> <tr><td>H30</td><td>31.3</td></tr> <tr><td>R1</td><td>31.0</td></tr> <tr><td>R2</td><td>30.8</td></tr> </table>	年度	実績値	H28	31.3	H29	33.3	H30	31.3	R1	31.0	R2	30.8	平成28年度からの5年間では、女性参画率は30%強程度となっており横ばい状態が続いている。審議会等のうち、要綱設置のものは令和2年度で40%を超えており目標値を達成しているが、法律・条例設置のものは30%前後となっている。審議会等の全体として目標値を達成するためには、特に法律・条例設置の部分についての課題を抽出し、対策を講じる必要があると考えられる。		B												
		年度	実績値																														
H28	31.3																																
H29	33.3																																
H30	31.3																																
R1	31.0																																
R2	30.8																																
多言語対応している市発行印刷物数	13種類	増	累計	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>10</td></tr> <tr><td>H29</td><td>10</td></tr> <tr><td>H30</td><td>12</td></tr> <tr><td>R1</td><td>14</td></tr> <tr><td>R2</td><td>14</td></tr> </table>	年度	実績値	H28	10	H29	10	H30	12	R1	14	R2	14	刊行物の発行に対し、外国籍の方への配慮が定着しつつあると考えられる。		S														
年度	実績値																																
H28	10																																
H29	10																																
H30	12																																
R1	14																																
R2	14																																
8	災害に強いまちづくり	耐震改修促進計画に基づく住宅及び多数の者が利用する建築物の耐震化率	95%以上	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>84.6</td></tr> <tr><td>H29</td><td>85.2</td></tr> <tr><td>H30</td><td>85.7</td></tr> <tr><td>R1</td><td>86.2</td></tr> <tr><td>R2</td><td>86.8</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>92.4</td></tr> <tr><td>H29</td><td>92.9</td></tr> <tr><td>H30</td><td>93.4</td></tr> <tr><td>R1</td><td>93.9</td></tr> <tr><td>R2</td><td>94.3</td></tr> </table>	年度	実績値	H28	84.6	H29	85.2	H30	85.7	R1	86.2	R2	86.8	年度	実績値	H28	92.4	H29	92.9	H30	93.4	R1	93.9	R2	94.3	<ul style="list-style-type: none"> 住宅の耐震化率は、5年ごとに実施している「住宅・土地統計調査」における平成25年から平成30年までの5年間における住宅戸数の推移に基づき推計している。 住宅耐震化緊急促進アクションプログラムによる戸別訪問などの啓発活動により一定の成果はあるものの、所有者は高齢化し金銭面から耐震化を躊躇して方もおり、目標値に届いていない。 		A
		年度	実績値																														
H28	84.6																																
H29	85.2																																
H30	85.7																																
R1	86.2																																
R2	86.8																																
年度	実績値																																
H28	92.4																																
H29	92.9																																
H30	93.4																																
R1	93.9																																
R2	94.3																																
防災訓練参加者数	15,000人	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>7,506</td></tr> <tr><td>H29</td><td>10,815</td></tr> <tr><td>H30</td><td>10,507</td></tr> <tr><td>R1</td><td>7,277</td></tr> </table>	年度	実績値	H28	7,506	H29	10,815	H30	10,507	R1	7,277	令和元年度より、訓練形態がいっせい総合防災訓練となり、人数が減少した。また、令和2年度には新型コロナウイルス感染症の影響により、訓練を中止した。訓練の形態の変更により人数が減少したが、訓練内容の見直し等により、今後の参加人数の上昇を目指す。		C																
年度	実績値																																
H28	7,506																																
H29	10,815																																
H30	10,507																																
R1	7,277																																

No.	施策	指標名	目標値 (R4年度末)	増減 目標	単年・ 累計	H28年度～R2年度までの実績 [グラフの凡例] 目標値— 実績値●— 基準値---	実績値の考察	補足説明	評価																								
9	消防・救急体制の充実	消防庁舎の耐震化率	100%	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>73</td><td>73</td><td>73</td><td>73</td><td>100</td></tr> <tr><th>目標値</th><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td></tr> <tr><th>基準値</th><td>73</td><td>73</td><td>73</td><td>73</td><td>73</td></tr> </table>	年度	H28	H29	H30	R1	R2	実績値	73	73	73	73	100	目標値	100	100	100	100	100	基準値	73	73	73	73	73	木造であった西大友出張所及び国府津出張所を廃止し、耐震施設として岡本出張所及び成田出張所を新設した。		S
		年度	H28	H29	H30	R1	R2																										
		実績値	73	73	73	73	100																										
目標値	100	100	100	100	100																												
基準値	73	73	73	73	73																												
配備救急隊数	11隊	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>11</td></tr> <tr><th>目標値</th><td>11</td><td>11</td><td>11</td><td>11</td><td>11</td></tr> <tr><th>基準値</th><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td></tr> </table>	年度	H28	H29	H30	R1	R2	実績値	10	10	10	10	11	目標値	11	11	11	11	11	基準値	10	10	10	10	10	消防署所の再編成により救急隊を1隊、増隊した。		S		
年度	H28	H29	H30	R1	R2																												
実績値	10	10	10	10	11																												
目標値	11	11	11	11	11																												
基準値	10	10	10	10	10																												
住宅用火災警報器の設置率	80%	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>61</td><td>55</td><td>57</td><td>57</td><td>63</td></tr> <tr><th>目標値</th><td>80</td><td>80</td><td>80</td><td>80</td><td>80</td></tr> <tr><th>基準値</th><td>40</td><td>40</td><td>40</td><td>40</td><td>40</td></tr> </table>	年度	H28	H29	H30	R1	R2	実績値	61	55	57	57	63	目標値	80	80	80	80	80	基準値	40	40	40	40	40	無作為抽出した住宅を対象に調査をした結果であることから、年度により設置率に若干のばらつきはみられるものの、令和4年度の目標値である80%に向け、徐々にでも向上している。さらに数値を上げていくために啓発活動に努めて行く。		B		
年度	H28	H29	H30	R1	R2																												
実績値	61	55	57	57	63																												
目標値	80	80	80	80	80																												
基準値	40	40	40	40	40																												
10	安全・安心の地域づくり	犯罪認知件数	900件	減	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>1,540</td><td>1,429</td><td>1,564</td><td>1,160</td><td>957</td></tr> <tr><th>目標値</th><td>900</td><td>900</td><td>900</td><td>900</td><td>900</td></tr> <tr><th>基準値</th><td>700</td><td>700</td><td>700</td><td>700</td><td>700</td></tr> </table>	年度	H28	H29	H30	R1	R2	実績値	1,540	1,429	1,564	1,160	957	目標値	900	900	900	900	900	基準値	700	700	700	700	700	刑法犯の認知件数は、全国的にも、6年連続で戦後最少を更新するなど、減少しており、本市でも年々減少傾向にある。また、令和2年は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛が影響して街頭犯罪が減ったことや、自宅滞在時間が長くなり、留守を狙われにくくなったことなどにより空き巣などの侵入盗が減ったことなどで、大幅に減少している。	平成28年度以降の実績値は、神奈川県警察本部が発表している犯罪統計の刑法犯認知件数(確定値)で、年度ではなく暦年の値。	S
		年度	H28	H29	H30	R1	R2																										
		実績値	1,540	1,429	1,564	1,160	957																										
目標値	900	900	900	900	900																												
基準値	700	700	700	700	700																												
交通事故件数	740件	減	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>813</td><td>759</td><td>760</td><td>659</td><td>594</td></tr> <tr><th>目標値</th><td>740</td><td>740</td><td>740</td><td>740</td><td>740</td></tr> <tr><th>基準値</th><td>500</td><td>500</td><td>500</td><td>500</td><td>500</td></tr> </table>	年度	H28	H29	H30	R1	R2	実績値	813	759	760	659	594	目標値	740	740	740	740	740	基準値	500	500	500	500	500	全国的に交通事故件数は減少傾向にあり、小田原市も同様の傾向にある。減少の要因としては、道路交通環境の整備、交通安全思想の普及徹底、安全運転の確保、車両の安全性の向上、道路交通秩序の維持等の取組を総合的に推進してきたことが結果として表れていると考えられる。	平成28年度以降の実績値は、神奈川県警察本部が発表している交通年鑑の交通事故件数で、年度ではなく暦年の数値。令和2年度欄の数値は、暫定値。	S		
年度	H28	H29	H30	R1	R2																												
実績値	813	759	760	659	594																												
目標値	740	740	740	740	740																												
基準値	500	500	500	500	500																												
空家率	3.17%	減	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>4.50</td><td>4.50</td><td>3.97</td><td>3.46</td><td>3.46</td></tr> <tr><th>目標値</th><td>3.17</td><td>3.17</td><td>3.17</td><td>3.17</td><td>3.17</td></tr> <tr><th>基準値</th><td>3.00</td><td>3.00</td><td>3.00</td><td>3.00</td><td>3.00</td></tr> </table>	年度	H28	H29	H30	R1	R2	実績値	4.50	4.50	3.97	3.46	3.46	目標値	3.17	3.17	3.17	3.17	3.17	基準値	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	総務省が発表した平成30年住宅・土地統計調査結果の概要によると、全国の「その他空家率(空家のうち、二次的住宅、賃貸用住宅、売却用住宅を除いたもの)」は5.3%から5.6%に上昇しており、東京など大都市を除き全国的に空家率が上昇している。本市としても空家等所有者等への指導や空き家バンク等を通じて空家率の低下を目指したが、全国的な潮流を覆すほどの有効打が打てず、その他空家率は上昇している。	住宅・土地統計調査は5年ごとに実施されるため。	C		
年度	H28	H29	H30	R1	R2																												
実績値	4.50	4.50	3.97	3.46	3.46																												
目標値	3.17	3.17	3.17	3.17	3.17																												
基準値	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00																												

No.	施策	指標名	目標値 (R4年度末)	増減 目標	単年・ 累計	H28年度～R2年度までの実績 [グラフの凡例] 目標値— 実績値— 基準値---	実績値の考察	補足説明	評価																								
11	子育て環境の充実	待機児童数	0人	減	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>22</td><td>24</td><td>17</td><td>11</td><td>14</td></tr> <tr><th>目標値</th><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><th>基準値</th><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	年度	H28	H29	H30	R1	R2	実績値	22	24	17	11	14	目標値	0	0	0	0	0	基準値	0	0	0	0	0	本市では、低年齢児を中心に待機児童が発生していることを受け、平成26年度から定員確保・拡大に向けた取組を進め、6年間で555人分(うち0歳から2歳は404人)の受け皿確保を行った。その結果、令和2年度の利用児童数は令和元年度と比較して55人増加し、保留児童数は23人減となっているものの、待機児童数については、令和元年度に比べ3人増加となっている。今後、令和2年3月に改定した「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、引き続き、地区別の入所状況を適切に見極めながら待機児童対策を推進してまいりたい。	待機児童数については、基準値をH28.4.1時点の数値としており、また、これまでも4/1時点の数値を発表しているため、年度末ではなく4/1時点の数値を計上した。	B
		年度	H28	H29	H30	R1	R2																										
		実績値	22	24	17	11	14																										
目標値	0	0	0	0	0																												
基準値	0	0	0	0	0																												
乳幼児健康診査の受診率	95%	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>95.4</td><td>94.9</td><td>94.8</td><td>94.6</td><td>93.6</td></tr> <tr><th>目標値</th><td>95</td><td>95</td><td>95</td><td>95</td><td>95</td></tr> <tr><th>基準値</th><td>92.9</td><td>92.9</td><td>92.9</td><td>92.9</td><td>92.9</td></tr> </table>	年度	H28	H29	H30	R1	R2	実績値	95.4	94.9	94.8	94.6	93.6	目標値	95	95	95	95	95	基準値	92.9	92.9	92.9	92.9	92.9	令和2年度は受診率が下がったが、目標達成に向け、周知等を行っている。また、健診未受診者へは再通知や戸別訪問を実施し、健診受診率の向上に取り組んでいる。		A		
年度	H28	H29	H30	R1	R2																												
実績値	95.4	94.9	94.8	94.6	93.6																												
目標値	95	95	95	95	95																												
基準値	92.9	92.9	92.9	92.9	92.9																												
地域子育てひろば参加者数	11,500人	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>11,397</td><td>9,888</td><td>9,604</td><td>9,394</td><td>3,076</td></tr> <tr><th>目標値</th><td>11,500</td><td>11,500</td><td>11,500</td><td>11,500</td><td>11,500</td></tr> <tr><th>基準値</th><td>11,500</td><td>11,500</td><td>11,500</td><td>11,500</td><td>11,500</td></tr> </table>	年度	H28	H29	H30	R1	R2	実績値	11,397	9,888	9,604	9,394	3,076	目標値	11,500	11,500	11,500	11,500	11,500	基準値	11,500	11,500	11,500	11,500	11,500	R1及びR2は、新型コロナウイルス感染症のまん延対策として、各地域での開催を自粛したことから、参加者数が減少している。		C		
年度	H28	H29	H30	R1	R2																												
実績値	11,397	9,888	9,604	9,394	3,076																												
目標値	11,500	11,500	11,500	11,500	11,500																												
基準値	11,500	11,500	11,500	11,500	11,500																												
12	青少年育成の推進	地域の見守り拠点づくり実施地区数	25地区	増	累計	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>6</td><td>7</td><td>9</td><td>13</td><td>13</td></tr> <tr><th>目標値</th><td>25</td><td>25</td><td>25</td><td>25</td><td>25</td></tr> <tr><th>基準値</th><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td></tr> </table>	年度	H28	H29	H30	R1	R2	実績値	6	7	9	13	13	目標値	25	25	25	25	25	基準値	4	4	4	4	4	子どもの居場所づくり事業について昨年度は新型コロナ感染症拡大により、候補箇所はあったが新規の居場所づくりにはつながらなかった。また、子どもの居場所づくりは、居場所を運営する担い手探しが重要となるが人材の確保や地域の調整等様々な問題があり、設置までには時間を要する。	拡大により、候補箇所はあったが新規の居場所づくりにはつながらなかった。また、子どもの居場所づくりは、居場所を運営する担い手探しが重要となるが人材の確保や地域の調整等様々な問題があり、設置までには時間を要する。	B
		年度	H28	H29	H30	R1	R2																										
実績値	6	7	9	13	13																												
目標値	25	25	25	25	25																												
基準値	4	4	4	4	4																												
放課後児童クラブの待機児童数	0人	減	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>6</td><td>9</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><th>目標値</th><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><th>基準値</th><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td></tr> </table>	年度	H28	H29	H30	R1	R2	実績値	6	9	0	0	0	目標値	0	0	0	0	0	基準値	12	12	12	12	12	入所児童数は増加しているものの入所人数に応じて、図工室や理科室等の特別室を利用し、待機児童0を達成している。		S		
年度	H28	H29	H30	R1	R2																												
実績値	6	9	0	0	0																												
目標値	0	0	0	0	0																												
基準値	12	12	12	12	12																												

No.	施策	指標名	目標値 (R4年度末)	増減 目標	単年・ 累計	H28年度～R2年度までの実績 [グラフの凡例] 目標値— 実績値— 基準値---	実績値の考察	補足説明	評価					
13	学校教育の充実	国語や算数・数学の授業がわからないと感じている児童生徒の割合	国語10%	減	単年		個に応じたきめ細かな指導を続けることにより、少しずつ基礎的・基本的な学習内容の定着が図られつつある。各校で作成している「学力向上プラン」実践の成果でもあると考える。	平成30年度国語は実績なし。令和2年度は全国学力・学習状況調査が中止のため、実績なし。	B					
			算数・数学11%											
		不登校児童生徒の出現率	小学校0.42%	減	単年					近年、不登校児童生徒数が増加する傾向が見られる。令和元年10月文部科学省通知により、不登校児童生徒への支援は、「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す必要があると示されたことから、出現率は指標になじまない状況になっている。しかしながら、不登校児童生徒への支援は、今後とも個々の状況に応じ、行っていくことが重要である。	C			
			中学校2.83%											
		新体力テストの総合評価が下位層(D・E層)の児童生徒の割合	小学校27%	減	単年							近年、全国的にみると児童生徒の体力低下が指摘されている中、平成28年度より市教育委員会では体力・運動能力指導員や著名なアスリートを小中学校に派遣し、運動に関する興味・関心を高める取組を推進してきた。調査対象となる児童生徒は毎年変わる中、平成28年以降は、県平均値を上回る結果が続く結果となっている。また、中学校では多くの年度で全国平均を大きく上回っている。ただし、令和3年度以降、暫くは低水準となることが見込まれる。	R2は、新型コロナ等の影響により調査を実施していない。	A
			中学校21%											

No.	施策	指標名	目標値 (R4年度末)	増減 目標	単年・ 累計	H28年度～R2年度までの実績 [グラフの凡例] 目標値— 実績値— 基準値---	実績値の考察	補足説明	評価												
14	産業振興と就労環境の整備	「創業支援事業計画」に伴う市内での創業件数(6年間の件数)	228件	増	累計	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>45</td></tr> <tr><td>H29</td><td>94</td></tr> <tr><td>H30</td><td>158</td></tr> <tr><td>R1</td><td>193</td></tr> <tr><td>R2</td><td>228</td></tr> </table>	年度	実績値	H28	45	H29	94	H30	158	R1	193	R2	228	各関係機関による積極的な取組により、一定の創業者を創出し、地域経済の活性化に寄与している。		S
		年度	実績値																		
H28	45																				
H29	94																				
H30	158																				
R1	193																				
R2	228																				
	「企業誘致推進条例」に基づく市内企業拡大再投資件数および市外からの新規立地件数(延数)	6件	増	累計	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>2</td></tr> <tr><td>H29</td><td>6</td></tr> <tr><td>H30</td><td>8</td></tr> <tr><td>R1</td><td>9</td></tr> <tr><td>R2</td><td>11</td></tr> </table>	年度	実績値	H28	2	H29	6	H30	8	R1	9	R2	11	企業立地計画書の提出件数でカウントしている。まちづくり企業市民協議会等で小田原市企業誘致推進条例のPRを行なっているほか、鬼柳・桑原地区工業団地等新たな産業用地が増加した影響もあり、件数が増加している。		S	
年度	実績値																				
H28	2																				
H29	6																				
H30	8																				
R1	9																				
R2	11																				
15	小田原ならではのものづくりの振興	小田原セレクション事業における選定品の売上伸び率(売上額の平均値)	10%	—	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>10</td></tr> <tr><td>H29</td><td>10</td></tr> <tr><td>H30</td><td>10</td></tr> <tr><td>R1</td><td>10</td></tr> <tr><td>R2</td><td>10</td></tr> </table>	年度	実績値	H28	10	H29	10	H30	10	R1	10	R2	10	選定商品のみでの売上伸び率は精査されていない。「小田原セレクションに選定された」との宣伝を前面に出して販売を展開する事業者も多く、一定の効果はあったと推測される。	聞き取りによる推測値	S
		年度	実績値																		
		H28	10																		
H29	10																				
H30	10																				
R1	10																				
R2	10																				
	地場産業PR支援事業・イベントなどの来場者・受講者数	390,000人	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>313,309</td></tr> <tr><td>H29</td><td>363,000</td></tr> <tr><td>H30</td><td>283,819</td></tr> <tr><td>R1</td><td>165,000</td></tr> <tr><td>R2</td><td>390,000</td></tr> </table>	年度	実績値	H28	313,309	H29	363,000	H30	283,819	R1	165,000	R2	390,000	横這い、若しくは下降気味であり、イベント内容を魅力的なものとする見直しが必要がある。令和2年度は、ほぼすべてのイベントが中止(一部ドライブスルー形式で実施)となったが、コロナ禍を考慮した実施方法など、今後を見据えた検討が必要がある。	隔年開催(H28、H30、R2)のイベント有。R2はおでん祭りをドライブスルー形式で実施し400台の来場があったが、人数集計はできない。	C	
年度	実績値																				
H28	313,309																				
H29	363,000																				
H30	283,819																				
R1	165,000																				
R2	390,000																				
	小田原地方木製品製造業実態調査報告書における生産額	2,710百万円	—	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>2,710</td></tr> <tr><td>H29</td><td>2,450</td></tr> <tr><td>R1</td><td>2,180</td></tr> </table>	年度	実績値	H28	2,710	H29	2,450	R1	2,180	プラスチック製品の普及、輸入製品の流入による業績不振に加え、業界全体の高齢化による廃業等により全体の生産額は下降している。一般社団法人箱根物産連合会の組合員数は、平成26年の94事業者から令和2年の74事業者に減少している状況がある。今後は業界と連携を密にし、販路拡大、後継者育成などを支援していく必要がある。	隔年調査	C					
年度	実績値																				
H28	2,710																				
H29	2,450																				
R1	2,180																				

No.	施策	指標名	目標値 (R4年度末)	増減 目標	単年・ 累計	H28年度～R2年度までの実績 [グラフの凡例] 目標値 — 実績値 ● 基準値 - - -	実績値の考察	補足説明	評価												
16	商業の振興	小田原駅周辺流動客数	60,000人	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>61,691</td></tr> <tr><td>H29</td><td>63,386</td></tr> <tr><td>H30</td><td>61,137</td></tr> <tr><td>R1</td><td>64,838</td></tr> <tr><td>R2</td><td>56,106</td></tr> </table>	年度	実績値	H28	61,691	H29	63,386	H30	61,137	R1	64,838	R2	56,106	H28年4月に小田原城天守閣がリニューアルオープンしたこともあり、小田原がメディアで取り上げられる機会が増えた効果により流動客数は増加傾向であったが、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響で大幅に減少した。	基準値に設定した数値は、5月に実施した臨時調査(H24からH28まで実施)の数値であり、H29年以降は実施していないため、定例調査(12月)の結果を記載。	B
		年度	実績値																		
H28	61,691																				
H29	63,386																				
H30	61,137																				
R1	64,838																				
R2	56,106																				
商店街活性化アドバイザー派遣制度活用件数	6件	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>2</td></tr> <tr><td>H29</td><td>1</td></tr> <tr><td>H30</td><td>1</td></tr> <tr><td>R1</td><td>1</td></tr> <tr><td>R2</td><td>1</td></tr> </table>	年度	実績値	H28	2	H29	1	H30	1	R1	1	R2	1	毎年商店会長にヒアリング調査をする際にアドバイザー制度の活用について勧めるなど活用促進に努めているが、活用件数の増加に至っていない。		C		
年度	実績値																				
H28	2																				
H29	1																				
H30	1																				
R1	1																				
R2	1																				
17	観光まちづくりの推進	入込観光客数	700万人	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>594</td></tr> <tr><td>H29</td><td>611</td></tr> <tr><td>H30</td><td>618</td></tr> <tr><td>R1</td><td>624</td></tr> <tr><td>R2</td><td>370</td></tr> </table>	年度	実績値	H28	594	H29	611	H30	618	R1	624	R2	370	平成28年については、小田原城天守閣のリニューアルオープンもあり、前年比大幅増となっており、それ以降、前年比1%~3%前後で増加傾向にあった。新規施設オープンや、大型イベント開催により、観光戦略ビジョンで目標に掲げている令和4年(平成34年)までに700万人という目標到達に近づきつつあったが、令和2年については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に伴い、入込観光客数は大幅減となった。	暦年数値で記載	C
		年度	実績値																		
		H28	594																		
H29	611																				
H30	618																				
R1	624																				
R2	370																				
観光消費総額	280億円	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>172</td></tr> <tr><td>H29</td><td>181</td></tr> <tr><td>H30</td><td>198</td></tr> <tr><td>R1</td><td>205</td></tr> <tr><td>R2</td><td>126</td></tr> </table>	年度	実績値	H28	172	H29	181	H30	198	R1	205	R2	126	平成28年については、入込観光客数が大幅に増加したことにより、消費額も大幅に増加している。それ以降、ゲストハウスやビジネスホテルなどの宿泊施設、観光施設がオープンしたことにより、前年比3%~10%前後で増加していたが、令和2年については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に伴い、観光消費額は大幅減となった。	暦年数値で記載	C		
年度	実績値																				
H28	172																				
H29	181																				
H30	198																				
R1	205																				
R2	126																				
小田原城天守閣入場者数	750,000人	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>775,406</td></tr> <tr><td>H29</td><td>738,086</td></tr> <tr><td>H30</td><td>603,318</td></tr> <tr><td>R1</td><td>580,019</td></tr> <tr><td>R2</td><td>213,281</td></tr> </table>	年度	実績値	H28	775,406	H29	738,086	H30	603,318	R1	580,019	R2	213,281	天守入場者数について、平成28年度に実施した展示等のリニューアル効果の薄れが令和元年に落ち着いてくる中、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、令和2年3月31日から5月31日までと、令和3年1月12日から3月21日まで休館したことなどの影響により、前年度比約37%となった。	H29年度から指定管理制度導入 R2年度は新型コロナウイルス感染症の対応として休館期間あり。	C		
年度	実績値																				
H28	775,406																				
H29	738,086																				
H30	603,318																				
R1	580,019																				
R2	213,281																				

No.	施策	指標名	目標値 (R4年度末)	増減 目標	単年・ 累計	H28年度～R2年度までの実績 [グラフの凡例] 目標値 — 実績値 ● 基準値 - - -	実績値の考察	補足説明	評価												
18	農林業の振興	農業販売金額500万円以上の経営体の割合	12%	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値 (%)</th></tr> <tr><td>H28</td><td>10.4</td></tr> <tr><td>H29</td><td>10.4</td></tr> <tr><td>H30</td><td>10.4</td></tr> <tr><td>R1</td><td>10.4</td></tr> <tr><td>R2</td><td>11.8</td></tr> </table>	年度	実績値 (%)	H28	10.4	H29	10.4	H30	10.4	R1	10.4	R2	11.8	500万円以上の経営体より、500万円以下の経営体の方が厳しい状況であるため、辞める人の割合が多かったと思われる。そのため結果的に、500万円以上の経営体の割合が増えた。	H28～R1までの数値は2015農林業センサス、R2年度は2020の農林業センサスを引用。	A
		年度	実績値 (%)																		
		H28	10.4																		
H29	10.4																				
H30	10.4																				
R1	10.4																				
R2	11.8																				
小田原産木材(原木)生産量	24百㎡	増	—	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値 (百㎡)</th></tr> <tr><td>H28</td><td>37</td></tr> <tr><td>H29</td><td>51</td></tr> <tr><td>H30</td><td>45</td></tr> <tr><td>R1</td><td>44</td></tr> <tr><td>R2</td><td>42</td></tr> </table>	年度	実績値 (百㎡)	H28	37	H29	51	H30	45	R1	44	R2	42	水源環境保全税を原資とした森林整備事業が着実に進む中、長期施業受委託事業などによる施業集約化が進み、森林組合や県事業による素材生産量が増加したものの。		S		
年度	実績値 (百㎡)																				
H28	37																				
H29	51																				
H30	45																				
R1	44																				
R2	42																				
耕作放棄地の解消面積	88,000㎡	増	累計	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値 (㎡)</th></tr> <tr><td>H28</td><td>39,051</td></tr> <tr><td>H29</td><td>44,274</td></tr> <tr><td>H30</td><td>45,434</td></tr> <tr><td>R1</td><td>53,152</td></tr> <tr><td>R2</td><td>59,836</td></tr> </table>	年度	実績値 (㎡)	H28	39,051	H29	44,274	H30	45,434	R1	53,152	R2	59,836	当初は、中核農業者の活用が多く見られたが、新規就農者には中々、条件の良い農地が回ってこない現状もあるため、H30年度より新規就農者への補助率を高く設定した。そのため、近年は新規就農者の割合が増え、毎年、3件程の実績もあり、数値も増え続けている。	H24年度より開始した耕作放棄地解消事業費補助金の解消面積を使用。H29年度(基準年)の48,000㎡は、H29年度末の目標値として設定。H28年度以降の数値は、実績値。	B		
年度	実績値 (㎡)																				
H28	39,051																				
H29	44,274																				
H30	45,434																				
R1	53,152																				
R2	59,836																				
19	水産業の振興	水産地方卸売市場における地魚の取扱金額	12.2億円	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値 (億円)</th></tr> <tr><td>H28</td><td>11.36</td></tr> <tr><td>H29</td><td>10.93</td></tr> <tr><td>H30</td><td>9.61</td></tr> <tr><td>R1</td><td>8.82</td></tr> <tr><td>R2</td><td>8.05</td></tr> </table>	年度	実績値 (億円)	H28	11.36	H29	10.93	H30	9.61	R1	8.82	R2	8.05	令和元年度までは、水揚げ品(地魚)、搬入品ともに取扱量は減少傾向にあり、それに伴い取扱金額も減少している。令和2年度については、取扱量は増加したが、新型コロナウイルス感染症の影響で魚価が下がり、取扱金額は減少となった。		C
		年度	実績値 (億円)																		
		H28	11.36																		
H29	10.93																				
H30	9.61																				
R1	8.82																				
R2	8.05																				
交流促進施設の年間入込客数	50万人	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値 (万人)</th></tr> <tr><td>H28</td><td>50</td></tr> <tr><td>H29</td><td>50</td></tr> <tr><td>H30</td><td>50</td></tr> <tr><td>R1</td><td>22</td></tr> <tr><td>R2</td><td>36</td></tr> </table>	年度	実績値 (万人)	H28	50	H29	50	H30	50	R1	22	R2	36	年間入込客数50万人の目標に対し、新型コロナウイルス感染症の影響下においても、令和2年度のレジ通過者数は約36万人であり、係数を用いての入込客数とした場合、目標は概ね達成できたものと考えている。	R1年11月開業【営業日】 R1年度 132日 R2年度 327日 実績値は、レジ通過者とする。	B		
年度	実績値 (万人)																				
H28	50																				
H29	50																				
H30	50																				
R1	22																				
R2	36																				
漁業後継者育成事業6年間の新規就業者数	3人	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値 (人)</th></tr> <tr><td>H28</td><td>2</td></tr> <tr><td>H29</td><td>1</td></tr> <tr><td>H30</td><td>3</td></tr> <tr><td>R1</td><td>3</td></tr> <tr><td>R2</td><td>1</td></tr> </table>	年度	実績値 (人)	H28	2	H29	1	H30	3	R1	3	R2	1	漁業従事者の高齢化や後継者の減少などにより、担い手不足が課題となっている。毎年、市漁業協同組合の定置網漁業に新規に就業する人がいる一方、退職する人もいるため、H30、R1は目標を達成することができたが、R2年度は目標を下回る結果となった。		B		
年度	実績値 (人)																				
H28	2																				
H29	1																				
H30	3																				
R1	3																				
R2	1																				

No.	施策	指標名	目標値 (R4年度末)	増減 目標	単年・ 累計	H28年度～R2年度までの実績 [グラフの凡例] 目標値 — 実績値 ● — 基準値 - - -					実績値の考察	補足説明	評価
						H28	H29	H30	R1	R2			
20	歴史資産の保存と活用	小田原城天守閣入場者数【再掲】	750,000人	増	単年						天守入場者数について、平成28年度に実施した展示等のリニューアル効果の薄れが令和元年に落ち着いてくる中、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、令和2年3月31日から5月31日までと、令和3年1月12日から3月21日まで休館したことなどの影響により、前年度比約37%となった。	H29年度から指定管理制度導入 R2年度は新型コロナウイルス感染症の対応として休館期間あり。	C
		文化財公開事業来訪者数	1,800人	増	単年						開催場所の変更や展示方法をより市民に親しみやすくするための工夫をすることで、来訪者数の増加につながったと認識している。		S
21	文化・芸術の振興	アウトリーチ事業の実施回数	30回	増	単年						・アウトリーチ事業は学校からの応募を元に文化政策課が派遣するアーティストを調整する事業である。そのため年度により多少のばらつきがみられる。 ・R2は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校からの応募が少なくなったが、応募があったところはすべて対応した。		A
		文化の担い手創出に係るアウトリーチ事業参加児童数	4,500人	増	単年						・アウトリーチ事業は学校からの応募を元に文化政策課が派遣するアーティストを調整する事業である。そのため年度により多少のばらつきがみられた。 ・R2は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加する児童の学年を限定するなどの対策を講じたことにより児童数は大幅な減少となったが、やむを得ないものと判断する。		C
		市民文化祭来場者数	30,000人	増	単年						・市民文化祭は参加する文化団体の高齢化が進んだことや、鑑賞者の拡大が進まなかったことにより目標達成が困難となった。	R2は新型コロナ対策のため中止した。	B

No.	施策	指標名	目標値 (R4年度末)	増減 目標	単年・ 累計	H28年度～R2年度までの実績 [グラフの凡例] 目標値 — 実績値 ● 基準値 - - -	実績値の考察	補足説明	評価																								
22	生涯学習の振興	生涯学習講座受講者数	43,000人	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th><th>基準値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>45,731</td><td>43,000</td><td>38,748</td></tr> <tr><td>H29</td><td>44,060</td><td>43,000</td><td>38,748</td></tr> <tr><td>H30</td><td>44,466</td><td>43,000</td><td>38,748</td></tr> <tr><td>R1</td><td>45,030</td><td>43,000</td><td>38,748</td></tr> <tr><td>R2</td><td>9,746</td><td>43,000</td><td>38,748</td></tr> </table>	年度	実績値	目標値	基準値	H28	45,731	43,000	38,748	H29	44,060	43,000	38,748	H30	44,466	43,000	38,748	R1	45,030	43,000	38,748	R2	9,746	43,000	38,748	R2年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策や緊急事態宣言により休館や事業自粛に伴い、目標達成が困難となった。		C
		年度	実績値	目標値	基準値																												
		H28	45,731	43,000	38,748																												
H29	44,060	43,000	38,748																														
H30	44,466	43,000	38,748																														
R1	45,030	43,000	38,748																														
R2	9,746	43,000	38,748																														
尊徳記念館来館者数(展示室+研修室)	93,000人	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th><th>基準値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>75,597</td><td>93,000</td><td>81,437</td></tr> <tr><td>H29</td><td>75,697</td><td>93,000</td><td>81,437</td></tr> <tr><td>H30</td><td>70,257</td><td>93,000</td><td>81,437</td></tr> <tr><td>R1</td><td>61,898</td><td>93,000</td><td>81,437</td></tr> <tr><td>R2</td><td>20,689</td><td>93,000</td><td>81,437</td></tr> </table>	年度	実績値	目標値	基準値	H28	75,597	93,000	81,437	H29	75,697	93,000	81,437	H30	70,257	93,000	81,437	R1	61,898	93,000	81,437	R2	20,689	93,000	81,437	目標値に達していない理由として、施設を利用する団体の構成員が高齢化したことにより、団体自体の解散、メンバーの減少、靴を脱がなくてはならない和室が敬遠されるなどにより、研修室の利用人数が減少していること等があげられる。またR2年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策や緊急事態宣言により、休館や利用人数の制限、事業自粛が多く発生したことで、大幅な利用減となった。		C		
年度	実績値	目標値	基準値																														
H28	75,597	93,000	81,437																														
H29	75,697	93,000	81,437																														
H30	70,257	93,000	81,437																														
R1	61,898	93,000	81,437																														
R2	20,689	93,000	81,437																														
1人当たりの図書貸出冊数	3冊	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th><th>基準値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>2.15</td><td>3</td><td>2.16</td></tr> <tr><td>H29</td><td>2.08</td><td>3</td><td>2.16</td></tr> <tr><td>H30</td><td>2.05</td><td>3</td><td>2.16</td></tr> <tr><td>R1</td><td>1.85</td><td>3</td><td>2.16</td></tr> <tr><td>R2</td><td>1.46</td><td>3</td><td>2.16</td></tr> </table>	年度	実績値	目標値	基準値	H28	2.15	3	2.16	H29	2.08	3	2.16	H30	2.05	3	2.16	R1	1.85	3	2.16	R2	1.46	3	2.16	貸出冊数(H28: 414,092冊 H29: 397,612 H30: 389,853冊 R1: 349,486冊 R2: 274,639冊)は減少傾向にあるが、令和元年度及び2年度は緊急事態宣言、中央図書館の内壁タイル改修工事等に伴う臨時休館、令和2年3月の市立図書館の閉館等の影響によるものと考察される。この他、図書館サービスの向上や資料購入費などの課題も考えられる。	図書館での貸出冊数(ネットワーク施設除く)	C		
年度	実績値	目標値	基準値																														
H28	2.15	3	2.16																														
H29	2.08	3	2.16																														
H30	2.05	3	2.16																														
R1	1.85	3	2.16																														
R2	1.46	3	2.16																														
23	生涯スポーツの振興	地域スポーツ活性化事業・ウォーキング事業利用地区数累計	26地区	増	累計	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th><th>基準値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>2</td><td>26</td><td>1</td></tr> <tr><td>H29</td><td>3</td><td>26</td><td>1</td></tr> <tr><td>H30</td><td>3</td><td>26</td><td>1</td></tr> <tr><td>R1</td><td>6</td><td>26</td><td>1</td></tr> <tr><td>R2</td><td>6</td><td>26</td><td>1</td></tr> </table>	年度	実績値	目標値	基準値	H28	2	26	1	H29	3	26	1	H30	3	26	1	R1	6	26	1	R2	6	26	1	これまでスポーツ活動に参加しなかった方々のスポーツ実施を促すため、地域で活動する市スポーツ推進委員などと連携して事業を実施しているが、既に各地域で自立した取り組みもあり、そのような取り組みは本指標にはカウントされていない。		B
		年度	実績値	目標値	基準値																												
		H28	2	26	1																												
H29	3	26	1																														
H30	3	26	1																														
R1	6	26	1																														
R2	6	26	1																														
城下町おだわらツデーマーチ参加者数	10,000人	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th><th>基準値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>8,655</td><td>10,000</td><td>8,789</td></tr> <tr><td>H29</td><td>7,625</td><td>10,000</td><td>8,789</td></tr> <tr><td>H30</td><td>8,937</td><td>10,000</td><td>8,789</td></tr> <tr><td>R1</td><td>7,305</td><td>10,000</td><td>8,789</td></tr> <tr><td>R2</td><td>10,000</td><td>10,000</td><td>8,789</td></tr> </table>	年度	実績値	目標値	基準値	H28	8,655	10,000	8,789	H29	7,625	10,000	8,789	H30	8,937	10,000	8,789	R1	7,305	10,000	8,789	R2	10,000	10,000	8,789	日本マーチングリーグの公式大会として開催しているが、ウォーキング参加者の高齢化や他のスポーツイベントの増加などを受けて、本大会の参加者数は延び悩んでいる。	R2の大会は、新型コロナウイルス感染症対策の影響により1年延期となった。	C		
年度	実績値	目標値	基準値																														
H28	8,655	10,000	8,789																														
H29	7,625	10,000	8,789																														
H30	8,937	10,000	8,789																														
R1	7,305	10,000	8,789																														
R2	10,000	10,000	8,789																														
体育施設利用者数	900,000人	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th><th>基準値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>891,373</td><td>900,000</td><td>878,325</td></tr> <tr><td>H29</td><td>955,237</td><td>900,000</td><td>878,325</td></tr> <tr><td>H30</td><td>928,428</td><td>900,000</td><td>878,325</td></tr> <tr><td>R1</td><td>748,880</td><td>900,000</td><td>878,325</td></tr> <tr><td>R2</td><td>375,512</td><td>900,000</td><td>878,325</td></tr> </table>	年度	実績値	目標値	基準値	H28	891,373	900,000	878,325	H29	955,237	900,000	878,325	H30	928,428	900,000	878,325	R1	748,880	900,000	878,325	R2	375,512	900,000	878,325	平成30年度及び令和元年度については、小田原アリーナ等の改修工事により施設閉館していた期間があったため目標値を達成していないが、例年の利用者数から想定すると、目標値の90万人は達成していたと思われる。令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の流行により、施設を閉館したこと及び施設開館後も外出を控える者も多かったことから、利用者人数が減少している。	H30及びR1は、施設の改修工事あり。R1及びR2は新型コロナウイルス感染症対策のため休館期間あり。	C		
年度	実績値	目標値	基準値																														
H28	891,373	900,000	878,325																														
H29	955,237	900,000	878,325																														
H30	928,428	900,000	878,325																														
R1	748,880	900,000	878,325																														
R2	375,512	900,000	878,325																														

No.	施策	指標名	目標値 (R4年度末)	増減 目標	単年・ 累計	H28年度～R2年度までの実績 [グラフの凡例] 目標値— 実績値— 基準値---	実績値の考察	補足説明	評価																								
24	環境再生・保全活動の推進	環境再生事業参加者数	2,000人	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th><th>基準値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>1,430</td><td>2,000</td><td>1,400</td></tr> <tr><td>H29</td><td>1,450</td><td>2,000</td><td>1,400</td></tr> <tr><td>H30</td><td>165</td><td>2,000</td><td>1,400</td></tr> <tr><td>R1</td><td>231</td><td>2,000</td><td>1,400</td></tr> <tr><td>R2</td><td>123</td><td>2,000</td><td>1,400</td></tr> </table>	年度	実績値	目標値	基準値	H28	1,430	2,000	1,400	H29	1,450	2,000	1,400	H30	165	2,000	1,400	R1	231	2,000	1,400	R2	123	2,000	1,400	酒匂川植栽事業、和留沢プロジェクト、菜の花栽培プロジェクトの3つの環境再生事業のうち、H30年度以降、菜の花栽培プロジェクトが休止となっているため、全体の参加者数が減少している。ただし、酒匂植栽事業、和留沢プロジェクトの参加者数については増加傾向にある。(R2年度はコロナ影響有のため減少)	R2年度は新型コロナウイルスまん延防止対策の影響により減少	C
		年度	実績値	目標値	基準値																												
H28	1,430	2,000	1,400																														
H29	1,450	2,000	1,400																														
H30	165	2,000	1,400																														
R1	231	2,000	1,400																														
R2	123	2,000	1,400																														
公共施設への再生可能エネルギー導入量	1,400kW	増	累計	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th><th>基準値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>276</td><td>1,400</td><td>276</td></tr> <tr><td>H29</td><td>346</td><td>1,400</td><td>276</td></tr> <tr><td>H30</td><td>346</td><td>1,400</td><td>276</td></tr> <tr><td>R1</td><td>346</td><td>1,400</td><td>276</td></tr> <tr><td>R2</td><td>396</td><td>1,400</td><td>276</td></tr> </table>	年度	実績値	目標値	基準値	H28	276	1,400	276	H29	346	1,400	276	H30	346	1,400	276	R1	346	1,400	276	R2	396	1,400	276	平成29年度にVPP(バーチャルパワープラント)事業で小学校7施設に太陽光発電設備(70kW)及び蓄電池を導入した。また、令和2年度に地域マイクログリッド事業として、小田原市こどもの森わんぱくらんどに太陽光発電設備(50kW)を導入。当初想定していた大容量の発電設備の導入ができなかったため、目標値に未達となったが、蓄電池やEVを活用したエネルギー管理事業に積極的に取り組み、先導的な事業の実績を積んでいる。		B		
年度	実績値	目標値	基準値																														
H28	276	1,400	276																														
H29	346	1,400	276																														
H30	346	1,400	276																														
R1	346	1,400	276																														
R2	396	1,400	276																														
25	廃棄物の減量化・資源化の推進	燃せるごみ1人1日あたりの排出量	718g	減	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th><th>基準値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>736</td><td>718</td><td>749</td></tr> <tr><td>H29</td><td>729</td><td>718</td><td>749</td></tr> <tr><td>H30</td><td>731</td><td>718</td><td>749</td></tr> <tr><td>R1</td><td>730</td><td>718</td><td>749</td></tr> <tr><td>R2</td><td>707</td><td>718</td><td>749</td></tr> </table>	年度	実績値	目標値	基準値	H28	736	718	749	H29	729	718	749	H30	731	718	749	R1	730	718	749	R2	707	718	749	ここ数年、減少傾向が緩やかになっていたが、令和2年度の家庭ごみの排出量は前年に比べほぼ横ばいながら、事業ごみの排出量が大きく減少したことに伴い、目標値を達成した。		S
		年度	実績値	目標値	基準値																												
		H28	736	718	749																												
H29	729	718	749																														
H30	731	718	749																														
R1	730	718	749																														
R2	707	718	749																														
資源化率	30.5%	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th><th>基準値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>25.6</td><td>30.5</td><td>24.3</td></tr> <tr><td>H29</td><td>25.2</td><td>30.5</td><td>24.3</td></tr> <tr><td>H30</td><td>24.6</td><td>30.5</td><td>24.3</td></tr> <tr><td>R1</td><td>24.8</td><td>30.5</td><td>24.3</td></tr> <tr><td>R2</td><td>26.6</td><td>30.5</td><td>24.3</td></tr> </table>	年度	実績値	目標値	基準値	H28	25.6	30.5	24.3	H29	25.2	30.5	24.3	H30	24.6	30.5	24.3	R1	24.8	30.5	24.3	R2	26.6	30.5	24.3	資源化率については横ばいから微減の状況である。特に資源ごみの多くを占める紙類について、情報媒体の電子化が進んでいることから、新聞や雑誌の購読量が減り、その影響から全体の古紙回収量が年々減少しており、資源化率に影響している。		C		
年度	実績値	目標値	基準値																														
H28	25.6	30.5	24.3																														
H29	25.2	30.5	24.3																														
H30	24.6	30.5	24.3																														
R1	24.8	30.5	24.3																														
R2	26.6	30.5	24.3																														
生ごみ堆肥化申請人数	8,000人	増	累計	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th><th>基準値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>5,272</td><td>8,000</td><td>4,177</td></tr> <tr><td>H29</td><td>5,532</td><td>8,000</td><td>4,177</td></tr> <tr><td>H30</td><td>5,742</td><td>8,000</td><td>4,177</td></tr> <tr><td>R1</td><td>5,902</td><td>8,000</td><td>4,177</td></tr> <tr><td>R2</td><td>6,120</td><td>8,000</td><td>4,177</td></tr> </table>	年度	実績値	目標値	基準値	H28	5,272	8,000	4,177	H29	5,532	8,000	4,177	H30	5,742	8,000	4,177	R1	5,902	8,000	4,177	R2	6,120	8,000	4,177	新規の登録世帯数は、事業開始当初から比べると鈍化している状況であるが、ここ数年は年間200世帯ほどとなり、緩やかに着実に増加している。市民団体「小田原生(いき)ごみクラブ」と協働で取り組んでいるが、活動メンバーが固定化し高齢化するなど、クラブの体制強化の必要性も出てきている。		B		
年度	実績値	目標値	基準値																														
H28	5,272	8,000	4,177																														
H29	5,532	8,000	4,177																														
H30	5,742	8,000	4,177																														
R1	5,902	8,000	4,177																														
R2	6,120	8,000	4,177																														

No.	施策	指標名	目標値 (R4年度末)	増減 目標	単年・ 累計	H28年度～R2年度までの実績 [グラフの凡例] 目標値— 実績値●— 基準値---	実績値の考察	補足説明	評価												
26	良好な生活環境の保全と形成	重点地区における美化活動参加者数	500人	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>131</td></tr> <tr><td>H29</td><td>84</td></tr> <tr><td>H30</td><td>73</td></tr> <tr><td>R1</td><td>76</td></tr> <tr><td>R2</td><td>16</td></tr> </table>	年度	実績値	H28	131	H29	84	H30	73	R1	76	R2	16	参加しているボランティア団体の高齢化が進み、発足当初と比較すると大幅に人員が減っている。また、コロナによる自粛の影響により、参加者が減少している。		C
		年度	実績値																		
H28	131																				
H29	84																				
H30	73																				
R1	76																				
R2	16																				
ボランティアごみ袋配布枚数	60,000枚	増	累計	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>41,200</td></tr> <tr><td>H29</td><td>47,870</td></tr> <tr><td>H30</td><td>52,543</td></tr> <tr><td>R1</td><td>54,490</td></tr> <tr><td>R2</td><td>31,165</td></tr> </table>	年度	実績値	H28	41,200	H29	47,870	H30	52,543	R1	54,490	R2	31,165	自治会による清掃活動のほか、ボランティア団体による清掃活動が活発に行われ基準値を超える実績を維持している。なお、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止により、清掃活動が制限されたため、減少したと思われる。		C		
年度	実績値																				
H28	41,200																				
H29	47,870																				
H30	52,543																				
R1	54,490																				
R2	31,165																				
27	自然環境の保全と再生	酒匂川水系保全協議会実施事業参加者数	550人	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>486</td></tr> <tr><td>H29</td><td>455</td></tr> <tr><td>H30</td><td>498</td></tr> <tr><td>R1</td><td>429</td></tr> <tr><td>R2</td><td>230</td></tr> </table>	年度	実績値	H28	486	H29	455	H30	498	R1	429	R2	230	参加者数については例年同様の事業を実施しているため、目標値には達していないものの、ある程度の水準の数値で推移している。なお、令和2年度については、新型コロナ感染症拡大防止の観点から、複数の事業を中止したため、大幅の減となっている。		C
		年度	実績値																		
H28	486																				
H29	455																				
H30	498																				
R1	429																				
R2	230																				
小田原市森林整備面積	1.5百ヘクタール	—	—	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>H29</td><td>1.3</td></tr> <tr><td>H30</td><td>1.2</td></tr> <tr><td>R1</td><td>1.4</td></tr> <tr><td>R2</td><td>1.4</td></tr> </table>	年度	実績値	H28	1.0	H29	1.3	H30	1.2	R1	1.4	R2	1.4	森林の有する水源かん養や土砂災害防止などの多面的機能を高度に発揮するため、県の水源環境税を活用して、計画的に森林整備を実施している。(整備面積は県と市の合算値)		A		
年度	実績値																				
H28	1.0																				
H29	1.3																				
H30	1.2																				
R1	1.4																				
R2	1.4																				
28	快適で魅力ある生活空間づくり	空家率【再掲】	3.17%	減	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>3.17</td></tr> <tr><td>H29</td><td>3.17</td></tr> <tr><td>H30</td><td>3.97</td></tr> <tr><td>R1</td><td>3.46</td></tr> <tr><td>R2</td><td>3.46</td></tr> </table>	年度	実績値	H28	3.17	H29	3.17	H30	3.97	R1	3.46	R2	3.46	総務省が発表した平成30年住宅・土地統計調査結果の概要によると、全国の「その他空家率(空家のうち、二次的住宅、賃貸用住宅、売却用住宅を除いたもの)」は5.3%から5.6%に上昇しており、東京など大都市を除き全国的に空家率が上昇している。本市としても空家等所有者等への指導や空き家バンク等を通じて空家率の低下を目指したが、全国的な潮流を覆すほどの有効打が打てず、その他空家率は上昇している。	住宅・土地統計調査は5年ごとに実施されるため。	C
		年度	実績値																		
H28	3.17																				
H29	3.17																				
H30	3.97																				
R1	3.46																				
R2	3.46																				
身近な公園プロデュース事業実施公園数	80公園	増	累計	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>18</td></tr> <tr><td>H29</td><td>27</td></tr> <tr><td>H30</td><td>36</td></tr> <tr><td>R1</td><td>50</td></tr> <tr><td>R2</td><td>58</td></tr> </table>	年度	実績値	H28	18	H29	27	H30	36	R1	50	R2	58	平成28年度の登録開始からほぼ見込みどおりのペースで登録団体を増やすことができた。		B		
年度	実績値																				
H28	18																				
H29	27																				
H30	36																				
R1	50																				
R2	58																				

No.	施策	指標名	目標値 (R4年度末)	増減 目標	単年・ 累計	H28年度～R2年度までの実績 [グラフの凡例] 目標値— 実績値— 基準値---					実績値の考察	補足説明	評価																								
						H28	H29	H30	R1	R2																											
29	安全で円滑な地域交通の充実	主要バス停の乗降人数	8,370人	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th><th>基準値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>8,370</td><td>8,370</td><td>8,120</td></tr> <tr><td>H29</td><td>8,370</td><td>未測定</td><td>8,120</td></tr> <tr><td>H30</td><td>8,370</td><td></td><td>8,120</td></tr> <tr><td>R1</td><td>8,370</td><td></td><td>8,120</td></tr> <tr><td>R2</td><td>8,370</td><td></td><td>8,120</td></tr> </table>					年度	目標値	実績値	基準値	H28	8,370	8,370	8,120	H29	8,370	未測定	8,120	H30	8,370		8,120	R1	8,370		8,120	R2	8,370		8,120		計測していないため不明	D
		年度	目標値	実績値	基準値																																
H28	8,370	8,370	8,120																																		
H29	8,370	未測定	8,120																																		
H30	8,370		8,120																																		
R1	8,370		8,120																																		
R2	8,370		8,120																																		
		舗装維持管理指数(MCI>3.0)達成率	100%	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th><th>基準値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>100</td><td>96.6</td><td>96.3</td></tr> <tr><td>H29</td><td>100</td><td>96.9</td><td>96.3</td></tr> <tr><td>H30</td><td>100</td><td>97.4</td><td>96.3</td></tr> <tr><td>R1</td><td>100</td><td>97.6</td><td>96.3</td></tr> <tr><td>R2</td><td>100</td><td>97.8</td><td>96.3</td></tr> </table>					年度	目標値	実績値	基準値	H28	100	96.6	96.3	H29	100	96.9	96.3	H30	100	97.4	96.3	R1	100	97.6	96.3	R2	100	97.8	96.3	国からの交付金を財源としているが、目標値の達成に必要な予算額が交付されず、事業の進捗に影響している。		A
年度	目標値	実績値	基準値																																		
H28	100	96.6	96.3																																		
H29	100	96.9	96.3																																		
H30	100	97.4	96.3																																		
R1	100	97.6	96.3																																		
R2	100	97.8	96.3																																		
30	安定した水供給と適正な下水処理	管路の耐震化率(水道)	32.2%	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th><th>基準値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>32.2</td><td>29.9</td><td>29.4</td></tr> <tr><td>H29</td><td>32.2</td><td>27.5</td><td>29.4</td></tr> <tr><td>H30</td><td>32.2</td><td>28.2</td><td>29.4</td></tr> <tr><td>R1</td><td>32.2</td><td>29.1</td><td>29.4</td></tr> <tr><td>R2</td><td>32.2</td><td>29.5</td><td>29.4</td></tr> </table>					年度	目標値	実績値	基準値	H28	32.2	29.9	29.4	H29	32.2	27.5	29.4	H30	32.2	28.2	29.4	R1	32.2	29.1	29.4	R2	32.2	29.5	29.4	管路の耐震管率については、基準値の算出方法をH29年度から変更した。対象口径を従前のφ75mm以上の管から、水道局が管理する全ての管路を対象に変更したことで、H29年度の耐震管率が一時的に下がっている。しかしながら、従前より管路の更新については、概ね計画どおりに進捗している。	基準値について、H29から算出根拠を変更した(対象口径をφ75mm以上から全口径へ変更)	A
		年度	目標値	実績値	基準値																																
		H28	32.2	29.9	29.4																																
H29	32.2	27.5	29.4																																		
H30	32.2	28.2	29.4																																		
R1	32.2	29.1	29.4																																		
R2	32.2	29.5	29.4																																		
	下水道計画区域内面積普及率	87.1%	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th><th>基準値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>87.1</td><td>85.5</td><td>85.3</td></tr> <tr><td>H29</td><td>87.1</td><td>85.7</td><td>85.3</td></tr> <tr><td>H30</td><td>87.1</td><td>86.0</td><td>85.3</td></tr> <tr><td>R1</td><td>87.1</td><td>86.2</td><td>85.3</td></tr> <tr><td>R2</td><td>87.1</td><td>88.2</td><td>85.3</td></tr> </table>					年度	目標値	実績値	基準値	H28	87.1	85.5	85.3	H29	87.1	85.7	85.3	H30	87.1	86.0	85.3	R1	87.1	86.2	85.3	R2	87.1	88.2	85.3	未普及地区における污水管渠の整備を着実に進めてきた結果、令和2年度末時点で目標を達成した。 ※令和2年度に下水道計画区域を縮小したため、面積普及率が目標を上回った。		S	
年度	目標値	実績値	基準値																																		
H28	87.1	85.5	85.3																																		
H29	87.1	85.7	85.3																																		
H30	87.1	86.0	85.3																																		
R1	87.1	86.2	85.3																																		
R2	87.1	88.2	85.3																																		
	料金回収率(水道)	102.1%	増	単年	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th><th>基準値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>102.1</td><td>94.3</td><td>95.4</td></tr> <tr><td>H29</td><td>102.1</td><td>111.4</td><td>95.4</td></tr> <tr><td>H30</td><td>102.1</td><td>109.5</td><td>95.4</td></tr> <tr><td>R1</td><td>102.1</td><td>105.5</td><td>95.4</td></tr> <tr><td>R2</td><td>102.1</td><td>109.6</td><td>95.4</td></tr> </table>					年度	目標値	実績値	基準値	H28	102.1	94.3	95.4	H29	102.1	111.4	95.4	H30	102.1	109.5	95.4	R1	102.1	105.5	95.4	R2	102.1	109.6	95.4	H29.1の水道料金改定により増加したが、水道使用水量の減少により漸減傾向にある。 R2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により水道料金収入が例年と異なる動きをしているところ、家庭用の水道料金収入の増加により、料金回収率も増加した。		S	
年度	目標値	実績値	基準値																																		
H28	102.1	94.3	95.4																																		
H29	102.1	111.4	95.4																																		
H30	102.1	109.5	95.4																																		
R1	102.1	105.5	95.4																																		
R2	102.1	109.6	95.4																																		

No.	施策	指標名	目標値 (R4年度末)	増減 目標	単年・ 累計	H28年度～R2年度までの実績 [グラフの凡例] 目標値— 実績値●— 基準値---			実績値の考察	補足説明	評価																								
						目標値	実績値	基準値																											
31	協働による地域経営	地域コミュニティ組織の分科会数	116分科会	増	累計	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr> <tr><th>目標値</th><td>116</td><td>116</td><td>116</td><td>116</td><td>116</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>33</td><td>54</td><td>85</td><td>92</td><td>90</td></tr> <tr><th>基準値</th><td>42</td><td>42</td><td>42</td><td>42</td><td>42</td></tr> </table>			年度	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	116	116	116	116	116	実績値	33	54	85	92	90	基準値	42	42	42	42	42	小田原市「地域コミュニティ組織基本指針」において、地域課題を解決するためには分野に応じて分科会を設置して取り組むことが望ましいとしており、各地域コミュニティ組織内の分科会で、生活応援隊や防災啓発活動等を実施し、地域内の課題に取り組んだことで、地域コミュニティ組織における分科会数が増加した。	分科会数は、負担金を渡していない分科会も含んでいる。	A
		年度	H28	H29	H30	R1	R2																												
		目標値	116	116	116	116	116																												
実績値	33	54	85	92	90																														
基準値	42	42	42	42	42																														
地域コミュニティ組織参加者数	1,520人	増	累計	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr> <tr><th>目標値</th><td>1,520</td><td>1,520</td><td>1,520</td><td>1,520</td><td>1,520</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>838</td><td>886</td><td>944</td><td>953</td><td>973</td></tr> <tr><th>基準値</th><td>823</td><td>823</td><td>823</td><td>823</td><td>823</td></tr> </table>			年度	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	1,520	1,520	1,520	1,520	1,520	実績値	838	886	944	953	973	基準値	823	823	823	823	823	小田原市「地域コミュニティ組織基本指針」では、地域コミュニティ組織は、「地域と市と協働による課題解決に取り組む」とことされており、この取り組みが地域活動団体から賛同を得たことで、活動に関わる団体が増加し委員数が増加した。		B		
年度	H28	H29	H30	R1	R2																														
目標値	1,520	1,520	1,520	1,520	1,520																														
実績値	838	886	944	953	973																														
基準値	823	823	823	823	823																														
自治会加入世帯数	63,000世帯	増	累計	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr> <tr><th>目標値</th><td>63,000</td><td>63,000</td><td>63,000</td><td>63,000</td><td>63,000</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>62,327</td><td>61,823</td><td>61,584</td><td>61,342</td><td>60,755</td></tr> <tr><th>基準値</th><td>62,819</td><td>62,819</td><td>62,819</td><td>62,819</td><td>62,819</td></tr> </table>			年度	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	63,000	63,000	63,000	63,000	63,000	実績値	62,327	61,823	61,584	61,342	60,755	基準値	62,819	62,819	62,819	62,819	62,819	自治会総連合として、目に見える自治会加入のメリットとなる「自治会カードおだわら」事業を平成31年3月から実施したほか、令和元年度からは「自治会加入促進月間」事業を実施し自治会加入促進を図っているが、現状のコロナ禍においてなかなか予定している活動も行えておらず、自治会加入の意義等を未加入者に伝えることが出来ていない。		C		
年度	H28	H29	H30	R1	R2																														
目標値	63,000	63,000	63,000	63,000	63,000																														
実績値	62,327	61,823	61,584	61,342	60,755																														
基準値	62,819	62,819	62,819	62,819	62,819																														
32	市民活動の促進	市民交流センター登録団体数	400団体	増	累計	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr> <tr><th>目標値</th><td>400</td><td>400</td><td>400</td><td>400</td><td>400</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>396</td><td>415</td><td>391</td><td>409</td><td>394</td></tr> <tr><th>基準値</th><td>346</td><td>346</td><td>346</td><td>346</td><td>346</td></tr> </table>			年度	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	400	400	400	400	400	実績値	396	415	391	409	394	基準値	346	346	346	346	346	平成27年度の開設以降、市民交流センター（UMECO）について市民から一定の認知を得ているほか、UMECOによる団体支援が継続されているため、目標値前後で登録団体数が安定していると考えられる。		A
		年度	H28	H29	H30	R1	R2																												
目標値	400	400	400	400	400																														
実績値	396	415	391	409	394																														
基準値	346	346	346	346	346																														
市内のNPO法人数	90団体	増	累計	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr> <tr><th>目標値</th><td>90</td><td>90</td><td>90</td><td>90</td><td>90</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>83</td><td>83</td><td>83</td><td>83</td><td>85</td></tr> <tr><th>基準値</th><td>81</td><td>81</td><td>81</td><td>81</td><td>81</td></tr> </table>			年度	H28	H29	H30	R1	R2	目標値	90	90	90	90	90	実績値	83	83	83	83	85	基準値	81	81	81	81	81	5年間で4法人増だが、内訳としては新規認証等による16法人増・解散等による12法人減である。当初の見込以上に会員の高齢化等を理由とした解散が増えているため、数値が伸びないと考えられる。		A		
年度	H28	H29	H30	R1	R2																														
目標値	90	90	90	90	90																														
実績値	83	83	83	83	85																														
基準値	81	81	81	81	81																														

No.	施策	指標名	目標値 (R4年度末)	増減 目標	単年・ 累計	H28年度～R2年度までの実績 [グラフの凡例] 目標値— 実績値— 基準値---	実績値の考察	補足説明	評価
33	情報共有の推進	ホームページアクセス数	14,750,000件	増	累計		令和2年度は新型コロナという特殊要因により数値の増加が見られた。今後も市民ニーズを適正に把握し、必要なタイミングに適切な情報提供を行っていくと考える。	R2の増加は新型コロナの影響による	S
		フェイスブックページの「いいね！」数	5,000件	増	累計		シティプロモーションに係るSNSは、社会的なトレンドも踏まえ、H30頃から、フェイスブックからInstagramに徐々に中心を移していったことが、数値の伸びの鈍化につながったものと想定される。(InstagramのR2のフォロワー数は12,198)		B
34	自立した行財政運営の推進	第2次行政改革実行計画に基づく目標達成率	100%	増	累計		実行計画に掲載された取組が着実に実行されるよう、毎年度、進捗管理を行いフォローアップしており、概ね計画通りに取り組まれている。また、当初の計画にはなかった自主的な行財政改革の取組の実績も追加され、財政効果額の目標値14億5千万円の達成に向け順調に進んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・財政効果額の目標値14億5千万円を基準に達成率を算出。 ・計画期間がH29からR4までのため、H28実績値は「-」としている。 ・本市の行財政改革は量と質の改革を両輪で進めている。指標は、毎年度フォローアップしている量の改革の財政効果額14億5千万円を目標値としている。質の改革については、中長期的な視点を持って取り組んでいくものであることから、中間及び最終でフォローアップすることとしており、中間報告では、全38事業のうち約4割にあたる15事業が目標値を達成又は上回っている。 	A
		公共建築物マネジメントにおける管理運営費用の削減効果額	4億円	増	累計		平成31年3月の支所等の廃止により、削減面積は少ないが管理運営費用の大幅な軽減が図られた。	公共施設マネジメント基本計画の計画期間である平成29年度以降の廃止施設の管理運営費用の削減効果額(施設白書における廃止年度「建物の維持管理や事業運営に要する経費」を継続的な効果額として算出)を記載。	A

No.	施策	指標名	目標値 (R4年度末)	増減 目標	単年・ 累計	H28年度～R2年度までの実績 [グラフの凡例] 目標値 — 実績値 ● 基準値 - - -	実績値の考察	補足説明	評価																								
35	自ら考えて行動する 職員の育成	新採用職員の人事評価の評点 (100点中)※平均	70点	増	単年	<table border="1"> <caption>新採用職員の人事評価の評点</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th><th>基準値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H28</td><td>68.0</td><td>70.0</td><td>68.0</td></tr> <tr><td>H29</td><td>68.0</td><td>70.0</td><td>68.0</td></tr> <tr><td>H30</td><td>67.0</td><td>70.0</td><td>68.0</td></tr> <tr><td>R1</td><td>67.0</td><td>70.0</td><td>68.0</td></tr> <tr><td>R2</td><td>69.0</td><td>70.0</td><td>68.0</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	基準値	H28	68.0	70.0	68.0	H29	68.0	70.0	68.0	H30	67.0	70.0	68.0	R1	67.0	70.0	68.0	R2	69.0	70.0	68.0	新規採用者(一般事務)の初年度10月評価が本市職員として概ね必要な水準に達した。		A
		年度	実績値	目標値	基準値																												
H28	68.0	70.0	68.0																														
H29	68.0	70.0	68.0																														
H30	67.0	70.0	68.0																														
R1	67.0	70.0	68.0																														
R2	69.0	70.0	68.0																														
職員研修参加者アンケート結果 (5段階評価)※平均	4.5点	増	単年	<table border="1"> <caption>職員研修参加者アンケート結果</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th><th>基準値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H28</td><td>4.2</td><td>4.5</td><td>4.2</td></tr> <tr><td>H29</td><td>4.3</td><td>4.5</td><td>4.2</td></tr> <tr><td>H30</td><td>4.2</td><td>4.5</td><td>4.2</td></tr> <tr><td>R1</td><td>4.2</td><td>4.5</td><td>4.2</td></tr> <tr><td>R2</td><td>4.3</td><td>4.5</td><td>4.2</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	基準値	H28	4.2	4.5	4.2	H29	4.3	4.5	4.2	H30	4.2	4.5	4.2	R1	4.2	4.5	4.2	R2	4.3	4.5	4.2	新型コロナウイルスの影響により、動画研修へと移行した研修評価が下がる傾向があるものの、全体的には前年度を上回っており、目標達成に向けて着実に推移している。		A		
年度	実績値	目標値	基準値																														
H28	4.2	4.5	4.2																														
H29	4.3	4.5	4.2																														
H30	4.2	4.5	4.2																														
R1	4.2	4.5	4.2																														
R2	4.3	4.5	4.2																														

評価の項目と個数		
S: 目標を達成した	19	22%
A: 目標達成に向け順調に推移した(基準値より増かつ達成率8割以上)	18	20%
B: 数値に大きな変化が見られなかった	18	20%
C: 目標達成が困難であった(基準値より減傾向)	31	35%
D: 評価不可能数値	2	3%
計	88	100%